

## 第 35 回 原子力関連学協会規格類協議会 議事録

1. 日時 平成25年12月17日（火）10:00～11:30

2. 場所 一般社団法人 日本電気協会 4階B,C会議室

3. 出席者(敬称略,順不同)

出席委員：宮野議長（日本原子力学会 標準委員会 委員長），森下（日本機械学会 発電用設備規格委員会 委員長），関村（日本電気協会 原子力規格委員会 委員長），有富（日本原子力学会 標準委員会 副委員長），宮口（日本機械学会 発電用設備規格委員会 副委員長），波木井（日本機械学会 発電用設備規格委員会 幹事），新田（日本電気協会 原子力規格委員会 副委員長），越塚（日本電気協会 原子力規格委員会 幹事），小山（日本機械学会 発電用設備規格委員会 原子力専門委員会 委員長）

常時参加者：藤井（原子力安全基盤機構），伊藤（原子力安全推進協会）

代理出席：大沢（電事連・富岡代理）

オブザーバ：小山田（日本機械学会 発電用設備規格委員会），愛川（日本溶接協会），大鳥（土木学会），船橋（火力原子力発電技術協会），荒井（日本電機工業会），浦田（日本電機工業会），溝口（日本電機工業会），河井（日本原子力学会），吉田（日本機械学会），川西（三菱重工）

日本機械学会 発電用設備規格委員会 事務局 高柳

日本原子力学会 標準委員会 事務局 室岡

日本電気協会 原子力規格委員会 事務局 鈴木，国則，大滝，芝，田村

（29名）

4. 配付資料

資料 No.35-1 第 34 回 原子力関連学協会規格類協議会 議事録（案）

資料 No.35-2 「学協会規格整備計画52項目」の見直し実施状況（経過報告）

資料 No.35-3-1 第9回標準活動検討タスク 議事要旨

資料 No.35-3-2 第10回標準活動検討タスク 議事要旨

資料 No.35-3-3 学協会規格類のリストアップへの協力をお願い

資料 No.35-4 設計・建設規格及び材料規格の技術評価に関する検討チーム 第2回会合 資料

資料 No.35-5 第1回原子力規格委員会シンポジウム（案）

資料 No.35-6 「JEAC4111-201X 原子力安全のためのマネジメントシステム規程」の実効的活動のためのワークショップ（平成25年度コース 講習会）の開催について

資料 No.35-7 JEAG4625 原子力発電所火山影響評価指針改定案の概要

資料 No.35-8 原子力関連学協会規格類協議会 幹事会議事概要(案)

資料 No.35-9 原子力関連学協会規格類協議会 運営要綱 新旧比較表

参考資料-1	原子力関連学協会規格類協議会 名簿
参考資料-2	原子力関連学協会規格類協議会 運営要綱
参考資料-3	日本機械学会 発電用設備規格委員会 制定規格
参考資料-4	一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 標準の策定と技術評価に関する状況
参考資料-5	日本電気協会 原子力規格委員会 策定規格

## 5.報告事項

### (1)常時参加者変更及びオブザーバ,代理出席者の紹介

事務局より,常時参加者の変更及びオブザーバ,代理出席者の紹介があった。

### (2)前回議事録確認

事務局より,資料 No.35-1 に基づき,前回議事録(案)について紹介があり,原案通り承認された。

### (3)報告事項

#### 1) 学協会規格の整備計画の見直しについて(中間報告)

機械学会,事務局より,資料 No.35-2 に基づき,学協会規格の整備計画の見直しについての中間報告があった。質疑・コメントは以下のとおり。

- ・規制基準文書番号が記載されているが,何の番号か。  
パブコメの番号であるので,いつの時点での番号であるか分かるように記載したい。
- ・整備計画の見直しは現在作業中であるので,継続的に進めて,報告をお願いしたい。

#### 2) 各学協会からの報告

各学協会から,以下のとおり,各学協会の活動状況の報告並びに,規格・規準の制改定状況について報告があった。

##### )日本原子力学会

日本原子力学会より,資料 No.35-3-1~3-3 に基づき,標準活動検討タスクの活動状況についての報告があった。また,参加の各学協会対して,学協会規格類リストへの記載の協力依頼があった(1月中目途)。主な質疑,コメントは以下のとおり。

- ・原子力学会では,日本の学協会規格を添付のようなオブジェクトツリーの形で分類しているので,共有していきたい。また,今年6月に安全の基本原則を制定したが,本原則をホームページ上でオープンにすることとしたので,ダウンロードして活用してほしい。
- ・議事録にある,「規制庁の組織改編があるので,3学協会規格として扱いの明確化を求める」とはどのような意味か。既に規制委員会において民間規格の活用が決まっている。

来年3月にJNESが規制委員会に統合される際に,安全審査と研究部門が明確に分類されると聞いた。学協会規格が技術評価でどう扱われるのか,委員会へ参加はどうか確認したい。

従来,保安院,JNESは委員として各学協会へ参画していたが,規制庁では一歩引いた形での参画となっている。距離間を考えた方が良くはないか。米国ではNRCが規格策定のメンバー

になっている。

次の資料のとおり、現在、規制委員会で機械学会の設計建設規格、材料規格を技術評価して頂いている。変更点が主な議論となっているが、従来は、規制側が規格作成のプロセスから参加して、変更点等を把握するなど、効率的な技術評価が出来ていたと思う。規制庁の考えは理解できるが、今後技術評価をどう進めていくか、3学協会と規制庁との意見交換を実施することが必要ではないかと考える。

- ・原子力学会での分類に、3学協会の整備計画を合わせて、オブジェクトツリーの展開で示してはどうか。

原子力学会として作業を進めているが、膨大な作業となっている。原案が出来れば3月の協議会で紹介したい。

#### )日本機械学会

日本機械学会より、資料 No.35-4 に基づき、設計・建設規格及び材料規格の技術評価に関する検討チームの状況報告があった。主な質疑・コメントは以下のとおり。

- ・規制委員会として理解した上で評価するためと思われるが、機械学会に対して規格の説明を要求されている。
- ・技術評価がどのように進められているか、情報提供はありがたいが、本来、技術評価がどうあるべきか、3学協会から既に提示してきている。会合に学協会を呼んで説明を求めるのみというように変更するのであれば議論すべきことではないか。

原子力学会の資料にあるように、JNES が統合されるタイミングであるため、3学協会からの提案、確認を実施していきたい。規制委員会では様々な意見があるため、実績を積み重ねていくことも大切ではないか。

#### )日本電気協会

日本電気協会より、資料 No.35-5～35-7 に基づき、原子力規格委員会シンポジウムの開催、JEAC4111-2013 原子力安全のためのマネジメントシステム規格ワークショップの開催、JEAG4625 原子力発電所火山影響評価指針改定案についての説明があった。質疑・コメントは特になし。

### 3)協議会幹事会からの報告

事務局より、資料 No.35-8 に基づいて、原子力関連学協会規格類協議会 幹事会議事概要についての報告があった。質疑・コメントは特になし。

### 4)協議会運営要綱の改定

事務局より、資料 No.35-9 に基づいて、原子力関連学協会規格類協議会 運営要綱の改定について提案があった。最新の組織名称へ修正するものであり、委員の合意を持って承認された。主な質疑・コメントは以下のとおり。

- ・新旧比較表の改定欄に、所管官庁となっているが、学協会を所管するのではないため、関係官庁へ修正のこと。

拝承。新旧比較表を修正する。

#### 6.その他

- ・ 次回の協議会開催日時は、平成 26 年 3 月 11 日(火) 10:00 からとした。

以上